



都市計画家/NPO の視点から



# 阪神淡路(御蔵通)と東日本大震災(三陸リアス沿岸)

生活・生業・コミュニティ再建とファシリテーション

内山征さん（都市計画家）：東日本大震災後、気仙沼、大船渡、大槌等で復興アドバイザーを務める。

宮定章さん（NPO 法人まち・コミュニケーション）：神戸御蔵通を拠点にする NPO の代表理事（建築学）。東日本大震災後は雄勝で月の半分を過ごし、現地の生の声に迫ろうとしている。

---

**2015年6月26日（金） 13:30-16:30**

中央大学多摩キャンパス 6103 教室: FLP 谷下・中澤ゼミ/中央大学ボランティアセンター共催

---

東日本大震災から4年3ヶ月が経過しますが、現地の悩みはつきず、復興がなつたとはいへない状態です。現場では今何が起きているのでしょうか。現地と伴走する都市計画家や NPO スタッフは、何に悩み、何に希望を感じているのでしょうか。報道されなくなった被災地の今を伝えていただきます。また、都市計画家や NPO が担う「ファシリテーション」とはどんな意味を持ち、そこにはどんなノウハウがあるのか、トークライブ形式でお聞きしていきたいと思ひます。被災地、まちづくり、防災・減災、そして東北や神戸に関心のある皆様の参加をお待ちします。

【お問い合わせ】 中央大学ボランティアセンター

TEL : 042-674-3487 / メール : chuo\_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp